

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公表番号】特表 2016-523979 (P2016-523979A)

【公表日】平成 28 年 8 月 12 日 (2016.8.12)

【年通号数】公開・登録公報 2016-048

【出願番号】特願 2016-525796 (P2016-525796)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/465 (2006.01)

A 6 1 M 15/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 25/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/465

A 6 1 M 15/06 A

A 6 1 K 9/12

A 6 1 P 25/34

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 9/72

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 10 日 (2017.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ニコチンのメタ - サリチル酸塩を含むニコチン塩。

【請求項 2】

メタ - サリチル酸ニコチンを含む医薬組成物であって、その必要がある対象に吸入により投与される組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本明細書の開示は以下の発明の開示を包含する：

[1] ニコチンのメタ - サリチル酸塩を含むニコチン塩。

[2] 下記のものを含む薬物供給用品：

不透過性表面を有する熱伝導性基材；

その表面の少なくとも一部に、ある厚さを有する膜の形態でコートされた、メタ - サリチル酸ニコチンを含むニコチン組成物；および

コートされたニコチン組成物の全部または一部を 2 秒以内に気化させるのに十分な温度に達する速度で基材に熱を供給するように操作できる熱源；

その際、気化したニコチン組成物は有効量のニコチンを含む；

その際、膜は0.05～30ミクロンの厚さを有する。

[3]ニコチン組成物がメタ-サリチル酸ニコチンから構成される、[2]に記載の薬物供給用品。

[4]ニコチン組成物が医薬的に許容できる賦形剤を含む、[2]に記載の薬物供給用品。

[5]膜厚が0.1～30ミクロンである、[2]に記載の薬物供給用品。

[6]メタ-サリチル酸ニコチンを含む医薬組成物であって、その必要がある対象に吸入により投与される組成物。

[7]患者が濃縮エアゾールの形成および送達を作動させた際に3μm未満のMMADおよび5%未満の薬物分解生成物を有する有効量のニコチン濃縮エアゾールが患者に吸入により投与されることを含む禁煙方法。

[8]ニコチン濃縮エアゾールがメタ-サリチル酸ニコチンを含む、[7]に記載の方法。

[9]患者が濃縮エアゾールの形成および送達を作動させた際に0.01～3μmのMMADおよび5%未満の薬物分解生成物を有するニコチン濃縮エアゾールが患者に吸入により投与されることを含む、ニコチン送達方法。

[10]ニコチン濃縮エアゾールがメタ-サリチル酸ニコチンを含む、[9]に記載の方法。

[11]患者が濃縮エアゾールの形成および送達を作動させた際に0.01～3μmのMMADおよび5%未満の薬物分解生成物を有する有効量のニコチン濃縮エアゾールが患者に吸入により投与されることを含む、ニコチン渴望の処置方法。

[12]ニコチン濃縮エアゾールがメタ-サリチル酸ニコチンを含む、[11]に記載の方法。

[13]患者が濃縮エアゾールの形成および送達を作動させた際に3μm未満のMMADおよび5%未満の薬物分解生成物を有する有効量のニコチン濃縮エアゾールが患者に吸入により投与されることを含む、禁煙を実施する方法。

[14]ニコチン濃縮エアゾールがメタ-サリチル酸ニコチンを含む、[13]に記載の方法。

[15]固体支持体上にコートされたメタ-サリチル酸ニコチンを含む組成物を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気を冷却して粒子を含む濃縮エアゾールを形成することにより形成され、その際、粒子が少なくとも50重量%のニコチンおよび5重量%未満の薬物分解生成物を含み、濃縮エアゾールが0.2～5ミクロンのMMADを有する、ニコチンを送達するためのニコチン濃縮エアゾール。

[16]濃縮エアゾールが1～3ミクロンのMMADを有する、[15]に記載の濃縮エアゾール。

[17]濃縮エアゾールが1～10%の遊離塩基ニコチンを含む、[15]に記載の濃縮エアゾール。

[18]濃縮エアゾールが10～20%の遊離塩基ニコチンを含む、[15]に記載の濃縮エアゾール。

[19]濃縮エアゾールが20～30%の遊離塩基ニコチンを含む、[15]に記載の濃縮エアゾール。

[20]濃縮エアゾールが30～40%の遊離塩基ニコチンを含む、[15]に記載の濃縮エアゾール。

[21]濃縮エアゾールが40～50%の遊離塩基ニコチンを含む、[15]に記載の濃縮エアゾール。

[0009]したがって、本開示の1観点は、メタ-サリチル酸ニコチンを教示する。本開示の1観点は、揮発性メタ-サリチル酸ニコチン化合物を含む化合物を提供し、その化合物は加熱した際に選択的に気化する。